

27日 漢字検定申し込み締切
10月7日～
前期末考査
15・16日
秋休み
17日～ 後期授業開始

航路

平成25年度 1学年通信

第23号
発行 大阪府立堺工科高校
072-241-1401
1年担任団
学年主任 下出豊勝

でっかいぞう 北海道 修学旅行

平成26年10月28日～3泊4日



宿泊 民泊2泊
ホテル1泊

内容 農業・酪農体験
およびラフティング・
カヌー等のアウトドア
体験

行程 1日目 関西空港～新千歳空港～現地
2日目 農業・酪農・漁業等体験
3日目 ラフティング・カヌー等体験および観光
4日目 小樽等散策

日程 平成26年10月28日(火)～31日(金)
3泊4日

行き先 北海道道央・十勝地区を中心および小樽・札幌(予定)

・自然環境のなかで楽しむスポーツをするこ
とで、集団生活のあり方や生徒達の「コミュニ
ケーション」を育む手段とする。
・歴史の町、札幌・小樽の町並みを見学し、
文化歴史に触れる。

・広大な農場・漁場での宿泊を伴う生活体
験を通して、職業と生活について考える
機会に触れる。また、文化歴史について学
ぶ。

目的・自然と環境分野の体験素材を多く持つ
地で、自然との共生や、地球環境問題に
ついても意識を高める

機会を持つことが多くあります。
君たち一年生の修学旅行については、来年10月に
実施することになりました。



修学旅行が正式に決定され本格的に
作業を開始しています。
五月の系選択説明会の際には保護
者の方々にまほ決まりかけていた内容
について連絡させていただきました。
最近の修学旅行は体験学習を中心
にした内容が多くなっています。
アウトドアの体験や農業・漁業の体
験を経験しながら食育について考える

わたしが覚えている文化祭は、高校3年生の時の焼きそば屋だけです。当日は朝方まで雨が降っていて、テントの屋根には雨が溜まっていた。下から突つくと溜まった雨がザッと落ちてきて、店先が水浸しになりました。運動場に屋台が並ぶのですが、

文化祭の思い出

足元はグチョグチョで、「ヒールの女の子は大変やね。」と友人と話したのを覚えています。キャベツが足りなくなったら、近所の商店街に

しに行って、何往復もしました。たった、それだけの事ですが、文化祭で思い出すのは何気ない会話やエピソードだったりします。
では、高校1・2年生の文化祭は何をしていたかという、おそらく、何もなかったのだと思います。当日は登校しましたが、何をしたか覚えていません。わたしは、割と冷めた考えの高校生で、「文化祭？面倒くさいなあ?。」といった感じでした。クラス全体が同じ様な雰囲気、体育祭などのイベントに燃える事もなく、けれど仲の良いクラスでした。

わたしが通った建築科は1クラスしか無かったので、3年間同じクラスメイトでした。3年生の最後のイベントである文化祭で、わたし達のクラスはようやく、クラスの思い出づくりをする気になりました。残り数ヶ月で離れ離れになる仲間達と、何かしたくなったのだと思います。元が冷めた感覚のクラスなので、熱い友情エピソードが出てくるわけでも無いのですが、同窓会をすると出てくる話題の一つになりました。

話は変わりますが、3年生の就職面接の練習をしていると、「高校生活での一番の思い出は？」という質問をする事があります。この時の回答で多いのは、修学旅行です。その次に出てくるのが、文化祭や体育祭でしょうか。誰も、〇〇という授業が…といった、勉強の話はしません。思い出として上がってくるエピソードは、修学旅行や文化祭といったイベントなんですね。

仲間と何かに打ち込めるのは、学生の今だけです。わたしは、とても勿体無い高校生活送ったなあ…と、今さら後悔しています。なので、教師になった今、文化祭や体育祭が大好きになりました。皆さんと何かに取り組む事で、どこかに置いてきた青春時代を取り戻そうとしているのかもしれない。そう思うと、良い仕事をさせて貰っているとしみじみ思います。

わたしが担当する1年2組も、一緒にいられる時間は残り数ヶ月です。そう思と、淋しい気持ちになります。わたしは機械系の教員なので、環境や電気系に進んだ人には、二度と教室の中で会えないのです。廊下で、元担任として話す事は出来ますが、何かを教える機会はグッと少なくなるでしょう。そう思うと、文化祭はクラスの皆さんとの思い出づくりにピッタリだと思っています。高校時代のわたしの様に、「文化祭？面倒くさいなあ?。」と言わず、積極的に参加してくれる事を願っています。



思い出づくり

二組担任 野々村さつき



みなそれぞれの花に咲く
個性の真価とは何か

ブルールイズムの現代

かつては個性の強さが職場や学校ではマイナスであるような見方をされたが、最近では、多様な価値観を認め合うブルールイズム(多元主義)という言葉が使われ、個性の多様性こそ、エネルギーの源泉だといわれています。
企業でもたえず新しい課題にチャレンジしなければならぬ職場では、各個人が個性的である方がその成功率は高いといわれています。(つづく)

親の労働聞き書き

私は仕事とは単に生きていくのに必要なお金を稼ぐためのことだと思っていました。ですが、話を聞いていると、夢を叶えるために働く人、世の中に適応するために働く人などという人々がいることに驚きました。そして話を聞き終えてから私はどんな仕事をしたいのだろうと思ひ考えました。私は絵を描くのが好きです。なので将来は絵を描く関係の仕事をしてみたいと考えています。そして、続けるには何か夢があるのだろうかと言ったようなことでした。ですが、この悩みは自分では答えを出せないことなので、またいつか機会があればいろんな人に聞いてみようと思っています。(生徒の作文から)